



アンケート調査は、要介護（支援）認定者の方や、65歳以上の高齢者の方、40歳以上～64歳未満の市民の方など2,273人を対象に、希望する介護サービスの形態や内容、介護保険料などの項目について行いました。1,344人の方々から回答があり、回収率は59.1%でした。

【表1】どんな介護サービスを希望しますか？

Table with columns for age groups (全体, 40~64歳, 65~74歳, 75歳以上) and service types (自宅での家族介護, 自宅での介護保険サービス, 施設入所, その他, 分からない, 回答内容不明).

75歳以上「自宅で介護を、将来の介護、認識低く

【表2】将来どんな介護を受けると考えていますか？ (単位%)
自宅での家族介護 2.8, 40~64歳 2.3, 65~74歳 2.7, 75歳以上 4.0
自宅での介護保険サービス 34.4, 40~64歳 29.8, 65~74歳 32.5, 75歳以上 48.3
施設入所 32.5, 40~64歳 31.6, 65~74歳 35.4, 75歳以上 27.9
その他 1.5, 40~64歳 1.5, 65~74歳 1.5, 75歳以上 1.0
分からない 25.3, 40~64歳 31.8, 65~74歳 24.7, 75歳以上 13.9
回答内容不明 3.5, 40~64歳 3.1, 65~74歳 3.1, 75歳以上 5.0
計 100.0, 40~64歳 100.0, 65~74歳 100.0, 75歳以上 100.0

「医療系に人気」介護サービス

Table with columns for service types (訪問介護, 訪問入浴介護, 訪問看護, etc.) and utilization rates (利用したい, 利用したくない, 分からない, 回答内容不明).

今年度から平成17年度までの保険料基準額は、3万5,427円と設定されています。年額保険料は、この基準額に被保険者の所得の段階に応じた一定率を乗じて算出します。

第1号被保険者（65歳以上）の所得段階は、5段階から6段階に変更しています（表5）。また、第1・2段階の方の保険料を引き下げ、第5段階の方は引き上げており（第6段階は新設）、「所得に応じ減額、引き上げを」というアンケートの結果を反映させています。

【表5】第1号被保険者の所得段階別保険料

Table with columns for explanation (説明), annual premium (年額保険料), average number of insured persons (平均対象者数), and remarks (備考).

今回の調査で、介護を受ける方は年齢が高いほど在宅指向が強いこと、医療系サービスへの要望が高いことなどが分かりましたので、市ではこの結果をもとに、在宅での介護サービス内容充実などに努力していきます。また、アンケート結果全体については、高齢福祉課で閲覧できますので、ご利用ください。

65歳以上の方へ 保険料の通知は6月中旬

介護に活かす「みなさんの声」

今年度からの保険料等を見直し



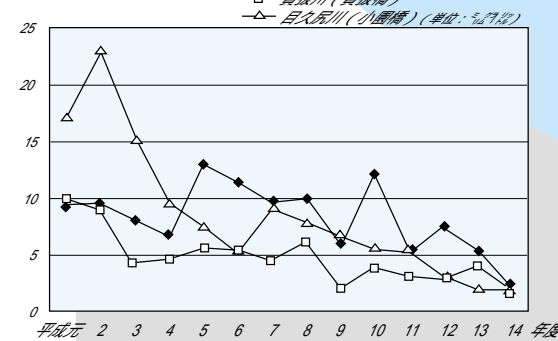
ご家族で、友達同士で、各種環境製品の魅力に楽しく接していませんか？「えびな環境展」

6/4水～27金 市役所で開催

「環境に優しい各種設備」といわれてもよく分からない…そんな方々のために、情報収集の場として「第4回えびな環境展」を開催します。



②BOD 経年変化



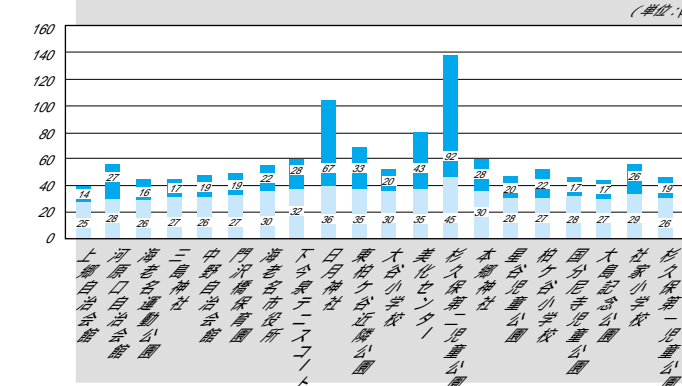
①ダイオキシン類大気環境調査結果

Table showing survey results for dioxin-like substances (pg-TEQ/m³) at various locations in Ebina for August 2002.

Pg-TEQ (ピコグラム毒性等量)：pg (ピコグラム) は、1兆分の1グラムを表します。ダイオキシン類には多くの種類があることから、毒性を総合的にTEQ (Toxic Equivalent Quantity = 毒性等量) により表しています。

平成14年度 環境調査結果

③窒素酸化物地点別年平均濃度



えびな環境展 ご来場を



家庭で消費されるエネルギーの約3分の1が給湯用であることに着目し、今年度から新たに高効率給湯器「エコキュート」の設置について補助を開始しました。



「エコ給湯器」補助新設

●地球に優しい各種設備の補助内容

Table listing subsidies for various eco-friendly equipment: Eco-Cyooto (50,000 yen), Rainwater Utilization (30,000 yen), Solar Water Heating (40,000 yen), Solar Thermal (50,000 yen), Wind Power (30,000 yen), Low-emission vehicles (10,000 yen), and Energy-saving (10,000 yen).

※太陽熱利用施設は、暖房、換気、給湯等を行う総合システムに限りません。
※低公害車は、電気自動車・ハイブリッド自動車・天然ガス自動車・メタノール自動車に限りません。

市では、大気・水質などの市内環境について、定期的に調査を行っています。前年度の調査では、大気中のダイオキシンについて、調査したすべての地点が環境基準を下回りました(①)。また、中小河川の水質は、BOD(生物学的酸素要求量) 大きい値は汚染度が高いなどについて調査しました。主な河川は改善傾向にあり、特に目久川で良好になりました(②)。大気中の窒素酸化物の年平均濃度調査結果は、③のとおりです。



えびな環境フォーラム

「えびな環境市民会議」の環境教育部会が中心となり、環境に関する講演等を行っています。今年3月に行われたフォーラムでは、市内5小学校の児童がサイクル等について研究成果を披露(写真)し、大好評でした。

省エネで実現「地球への思いやり」

31年前の6月5日、スウェーデンで国連人間環境会議が開かれ、以来その日は「世界環境デー」となっています。この日は日本でも「環境の日」に定められ、6月全体を「環境月間」に位置づけ、地球環境を考える期間にしています。今年「環境月間」は「はじめてです。地球にやさしい新生活」。今回はみなさんの生活に密着した、市のさまざまな環境活動を紹介します。

省エネルギーは、私たちが日常生活で最も取り組むやすい環境保全活動です。市では去年9月、市民1人当たりのエネルギー消費を、2010年度までに1998年度実績と比べて9%削減することとし、具体的な取り組みの方向性を示す「海老名市地域省エネルギービジョン」を策定しました。同ビジョンにより、平成14年度中に市庁舎

「私たちも始めています！」 市民発の環境活動

市民のみなさんと事業者、行政が3者1体となって、環境保全活動を進める「えびな環境市民会議」。平成11年8月に誕生し、現在個人会員約80人、団体会員25団体が、7つの部会を構成しています。県内初の力キ会を使った河川浄化試験や、生ごみから作ったたい肥で野菜を栽培する循環型社会構築の実験などを実施しています。

環境保全課 (内531)

エネルギー 市内の消費 12年間で9%削減